

La Estación

ラ・エスタシオン

スペイン語で、局や駅の意。当誌が県内の国際交流・協力情報の発信地として、広く親しんでいただけるよう願いを込めてつけました。

Event Calendar1

2~3月

大分の国際交流団体の紹介.....2

e-KAMISHIBAI

JICAデスク大分からこんにちは.....2

「隊員インタビュー」

私たちの声を聞いてください!.....3

夏 晴 氏

おおいた国際交流プラザより.....3

「国際理解講座②③を開催しました」



FEB

2 ▶▶▶ MAR 3

プラザのカウンセリング・各種相談のご案内

中国語無料相談

毎週木曜日

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

相談員：兒玉 文玉（こだま うえんゆう）

※県内在住中国語圏の方のための無料相談です。

タガログ語無料相談

毎月第1土曜日と第3火曜日

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

相談員：吉武 ロドラ（大分県フィリピン友好協会 会長）

※県内在住フィリピン人の方のための無料相談です。

在住外国人のための無料相談

毎月第3水曜日

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

予約：不要 相談料：無料

※ただし、日本語、英語以外による相談は、通訳手配のため、2日前までに要予約。

相談員：伊藤 精（行政書士）

※県内在住外国人のための無料相談です。

入国・在留国籍手続無料相談

毎月第1日曜日

主催：外国人 Life Support 時間：13：00～16：00

会場：国際交流プラザ 予約：必要 相談料：無料

対応言語：日本語・英語

※主として法律相談ですが、それ以外の内容でもお困りの場合はご来館ください。また、相談内容が外にもれることはありません。お知り合いの外国籍の方がトラブルや悩みを抱えている場合には、その方にぜひお伝えください。

在住外国人のための無料健康相談

偶数月第3火曜日

主催：大分県済生会日田病院 時間：14：30～15：30

会場：国際交流プラザ 予約：不要 相談料：無料

○健康が不安、どこに相談すればいいの？

○体調が悪いけど、医療費の支払いが心配。

県内在住外国人で、低所得（住民税非課税世帯等）の方、失業等による急な所得低下の方、DV被害の方、医療費にお困りで病院を受診できない方、医療や福祉に関する相談など、ぜひご利用ください。

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。



13日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ



18日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



18日（火）在住外国人のための無料健康相談

時間：14：30～15：30 会場：国際交流プラザ

※健康保険証をお持ちの方は、当日持参してください。

お問合せ：大分県済生会日田病院 TEL 0973-24-1100



19日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



20日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ



27日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ

MAR



1日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



2日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

主催：外国人Life Support



3日（月）～7日（金）多言語図書無料配布

時間：10：00～19：00 会場：国際交流プラザ

*本が無くなり次第終了します。



6日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ



8日（土）国際理解講座③「フィリピン編」（映画上映会）

時間：13：00～16：00

会場：iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール



13日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ



17日（月）通訳翻訳ボランティアスキルアップ講座

おおい国際交流プラザでは、通訳翻訳ボランティアを対象にスキルアップ講座を開催しています。3月は、災害時に外国人をサポートする「災害通訳」がテーマです。通訳ボランティアとして求められる心構えや実際の災害時の実態・課題等を学んでいただく予定です。ご登録者はぜひご参加ください。

時間：18：30～20：00

会場：iichiko総合文化センター地下1階 映像小ホール

対象：国際交流プラザの通訳翻訳ボランティア登録者

参加費：無料 ※要申込（締切り：3月11日（月））



18日（火）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



19日（水）在住外国人のための無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



20日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ



27日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ

FEB



1日（土）タガログ語無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ



2日（日）入国・在留国籍手続無料相談

時間：13：00～16：00 会場：国際交流プラザ

主催：外国人Life Support



6日（木）中国語無料相談

時間：10：00～13：00 会場：国際交流プラザ

大分の国際交流団体の紹介

「e-KAMISHIBAI(イー・カミシバイ)」

■iPadと英語を使った、留学生と子どもたちの国際交流活動 e-KAMISHIBAI

e-KAMISHIBAIとは、iPadと英語を使って留学生と子どもたちが、大分に伝わる昔話を一緒に読んだり、留学生の国の食べ物、衣装、観光地などをホームページで見ながら話したりする国際交流活動です。

EnglishとElectronic device (iPad) のEを紙芝居の頭につけて、e-KAMISHIBAIと呼んでいます。

■2010年に有志が集まりスタート

私は、IT関係の仕事をしていること、そして子どもたちが好きなこともあって、長い間、留学生が多い大分の特色を活かして、ITと英語を使った活動が何かできないかと考えていました。

そんななか、4年前にiPadを手にし、なかに入っていた絵本アプリを見た時に、「これを使って紙芝居風に子どもたちと留学生が交流できるのでは」と思いつきました。そして、身近にいたAPUの学生に声をかけ、一緒にこの活動をスタートしました。

■県内18市町村をe-KAMISHIBAIで巡回

現在、iPadには、大分県内全市町村の昔話18話が入っています。イラストは新しく描き起こし、英訳は留学生と一緒に

■代表 一般社団法人ブテラ 代表理事 武本幹雄

■住所 大分県大分市南春日町11-35-409

■TEL 090-4988-4552 ■E-mail info@e-kamishibai.com

■URL www.e-kamishibai.com ■Facebook e-KAMISHIBAI (公開ページ)

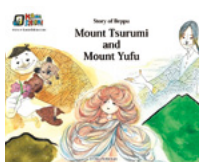
いました。

2年前には、18市町村へ留学生と一緒に掛けだし、「ここに伝わるお話だよ」と言って一緒に読みました。子どもたちも留学生も、大分や自分たちのまちのことを知る機会となり、楽しんでくれたと思っています。

当初、4、5名で始めた活動が、これまでに県内1,300名を超える子どもたちと、のべ300名を超える留学生との交流の輪へと広がりました。

■世界・未来に羽ばたく子どもたちを支援していきたい

今、小学生から見る大学生は随分と大人ですが、10年後には、共に社会で活躍する世代になっています。その時、「そうだ、あの時の留学生に会いに行こう」とか、仕事で一緒になったりとか、そういう交流が生まれればいいなと思いつつ、これからも活動を続けていきたいと考えています。



JICA デスク大分 からこんにちは

大分県から派遣されているJICAボランティア（青年海外協力隊、シニア海外ボランティア）は、23名です（2013年11月6日現在）。今回は、2014年1月上旬に大分県から出発する3名の青年海外協力隊のみなさんに、参加するきっかけや、現地での抱負をインタビューしました！



仲 由布子 (なか ゆうこ) さん
キルギス共和国、青少年活動

大学生の頃にボランティアで訪れたフィリピンの格差を見て衝撃を受け、途上国の人々の生活向上のためにできることは何だろうか？と常に考えてきました。教育の分野に進み、シンガポールで日本語教師の経験を重ねました。農村部の小中一貫校で日本語を教えたり、日本文化のクラブ活動をしたりします。ダンスや茶道が得意です。キルギスの子ども達の育成に貢献したいです。



河合 亜留士 (かわい あると) さん
エルサルバドル、防災・災害対策

国際観光温泉文化都市別府で、消防官として働く中で、外国の方々と接点が増え、海外で働いてみたいと思い応募しました。現地では市役所の防災課に配属され、防災訓練の指導、防災委員会の運営などに携わります。青年海外協力隊は草の根活動が特徴です。地元の方達の目線で、「本当に必要なものは何か」を考えながら活動していきたいです！



尾藤 恵 (びとう めぐみ) さん
セネガル、医療機器

以前より、世界と日本をつなぐ仕事に関わりたと思っていました。人口呼吸器、透析や輸液ポンプなどのメンテナンスや予防の大切さを、10年間の臨床工学技士としての経験を活かして、現地の方々に伝えていきたいです。70日間の派遣前訓練では、フランス語を学びましたが、現地では「ウォルフ語」が話されています。挨拶を大切にする国なので、多くの人々と笑顔で挨拶を交わしていきたいです。



JICAデスク大分 国際協力推進員 渡辺了孔
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター地下1階 国際交流プラザ内
TEL : 097-533-4021 FAX : 097-533-4052 E-Mail : jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp
JICA九州Facebookページ <https://www.facebook.com/jicakyushu>



よりよい明日を 世界の人々と



「日本に来て驚いたこと～一生懸命に生きる：日本の魂～」

夏 晴氏



私は、甘栗で有名な中国の天津から参りました。日本に対し、「近くて遠い国」という印象を持っています。なぜかという、日本と中国は友好的な隣国なんです、両国の生活や習慣から国民の性格や思想まで明らかな相違点が見えるからです。

日本に来てから5年が経ち、多くのことで驚きました。その中で最も驚いたのは、「天津飯」という食べ物存在です。美味しく大好きな料理ですが、残念ながら出身地の天津にはありません。これは日本の中華料理の中で生まれたものです。

もう一つ吃驚したのは、ごみの分別です。初めて日本に来た時、同じごみでも処分の仕方により多くの種類に分けられていることを全然知らず、周囲にも多くの迷惑を掛けてしまいました。日本人の環境に対する意識だけではなく、心の細かさや優しさも見えました。

また、最も心を震えさせた驚きと言えば、日本民族の精神です。日本にいる5年間、日本人の友達と交流し、日本の物事を観察し心でそれを感じ、「日本の魂」が一体何なのかと私は考えていました。そして、「一生懸命に生きる」という言葉は、日本民族の精神的な本質を描いていると思うようになりました。

実は日本に留学しようと決心した時、両親に大変心配されました。その理由は、日本の自然災害の多さでした。日本の国土の大部分は、夏から秋にかけて、台風の通り道になっており、毎年必ず大きな被害が出て、多くの人命が失われます。また、各地で活発な火山活動や地震もあります。日本にいれば、不安定な巣の上で生活していると外国人は感じます。しかし、日本人は、強い希望と情熱を持ち、笑顔で毎日を送っています。70歳以上の高齢者でも、楽しく踊ったりお酒を飲んだりして、有意義な日々を過ごしています。私がアルバイトをしている店の女性の店長さんは、60歳に近いんですが、健康に良い習慣や化粧の仕方や生活に対する積極的な態度のおかげで、外見が30代に見えます。この様な日本人たちは、自然界の危険も老化

も怖がらず、どの様な脅威に直面しても、精一杯情熱を注ぎ一生懸命に生きています。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、一万人を超える犠牲者が出たというニュースを見てびっくりしました。しかし、その一週間後、「水没の町で卒業式」という記事をインターネットで読み安心したと同時に、非常に感動したのです。この記事によると、「津波で大きな被害を受けた宮城県のある小学校で18日、卒業式が開かれた」ということでした。

避難所にもなっているこの学校の体育館で、6年生の男女わずか4人を送り出すため、学生と保護者、教員たち約70人が出席しました。卒業生は「頑張りたい」と誓い、「全員で笑顔で日々を送ろう」と約束しました。

災害に直面していた日本の少年たちは、救援のヘリコプターの音に負けないくらい大きな歌声の中で、「頑張りたい」つまり「一生懸命に生きたい」と強く決心をしました。被災者として、肉体的にも精神的にもぼろぼろの状態、壊れた家や学校、さらには親友の死に直面しているのに、悲しさや辛さに捕らわれず、明日に向かって新しい生活を作ろうと決意しました。私はそのような場面を見て、驚きながら大変感動し、その感動は今も続いています。

日本人は何故危険と災害の前で恐れも慌てもせず、一生懸命に生きていけるのでしょうか？それが日本民族の勇気と緊密に繋がっていると、私は思います。この「勇気」とは、ただ心が悩みや恐怖によって揺るがされないことだけではなく、明るい笑顔を捨てず楽しく暮らすことも指すと考えます。

中国人として、私は昔「一生懸命」と「笑顔」が全然関係のない言葉だと思っていましたが、今まで日本で5年間の生活を送って、「人は笑顔を持って一生懸命に生きられる」という考えを受け入れるようになってきました。どんな状況でも、明るい笑顔を持ち、一生懸命に生きていけることが強さだと、私は信じます。日本人の魂があれば、日本は強くなれると、私は信じます。

今日より強く生きる日本のために、私は祈っています。

おおい国際交流プラザより 『国際理解講座①②を開催しました』

昨年11月と12月にiichiko総合文化センター地下1階映像小ホールで、国際理解講座を行いました。

第1回は「スリランカ編」。APU留学生モハメド・ザーキル氏に自国の歴史や食、文化など紹介してもらいました。この回は「スリランカフェ」と題し、カフェ形式としたため、スリランカの紅茶を飲み寛ぎながらの講座となりました。ザーキル氏の人柄も良く、講義終了後は参加者からの質問が飛び交い和気あいあいとした座談会に！大変盛り上がりしました。



また、第2回の「イタリア編」ではACミランサッカースクール大分からルカ・モネーゼ氏、通訳に齊藤真史氏を講師にお招きし、「サッカーを通じてのイタリア式子育て」をテーマにお話をいただきました。前半部分ではイタリアの国の紹介。素敵な町並みの景色や美味しい食べ物などたくさん写真を時にはクイズをおりまぜながらお楽しみして聞くことができました。後半ではイタリア式子育てについて。サッカー教育を通してより良いプレーヤーとしてだけでなく、より良い人間の育てるにはどうしたら良いのかをたくさん提案していただきました。

3月には国際理解講座③「フィリピン編」を予定しております。ぜひご参加ください！

FREE BOOKS
本を無料で配布します!

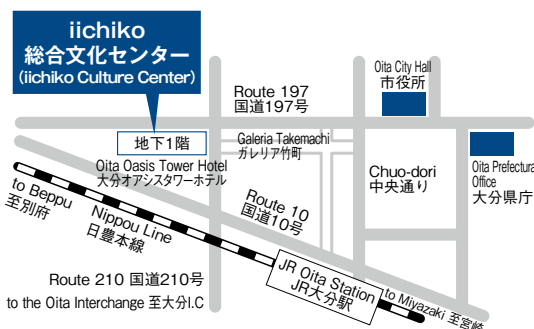
FREE Foreign BOOKS Giveaway

外国語図書無料配布

本のリサイクルもエコ!
プラザが所蔵する中古の外国語の本を無料で配布します!

※お一人様最大5冊までお持ち帰りできます。
※マイバックをご用意ください。
※本が無くなり次第終了します。ご了承下さい。

期間：平成26年3月3日(月)～7日(金)
時間：10:00am～19:00pm
会場：おおい国際交流プラザ



おおい国際交流プラザ

La Estación ラ エスタシオン
2014 VOL. 47

発行日 平成26年1月31日(奇数月末発行予定)
編集・発行 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
国際文化スポーツ振興課
〒870-0029 大分市高砂町2番33号 スペース ビー
iichiko総合文化センター地下1階 iichiko Space Be内
開館時間：9：30～19：00
閉館日：日曜日・祝日及び第2・4月曜日とその週
の土曜日※ただし閉館日が祝祭日の場合はその翌日
TEL：097-533-4021 FAX：097-533-4052
E-mail：in@emo.or.jp Twitter：@oitaplaza
Facebook：おおい国際交流プラザ
URL：http://www.oitaplaza.jp/